

交通事故の削減

安全な道、信頼できる道

事業区間の現道(国道1号)は急なカーブが多く、道路線形の不良に起因する事故が正面衝突をはじめ多く発生しています。

最小曲線半径
*60m未満の
区間が21箇所
点在！

※最小曲線半径とは…
車道の曲線部の中心の半径
がとれる最小の値。

整備効果

現況
現道(国道1号)

整備後
(笹原山中バイパス)

整備効果

最小曲線半径
60m未満*
：21箇所

死亡事故件数
：3件

出典：国土交通省資料による

全箇所改良

安全性の
向上

事故危険区間
の回避

死亡事故
の削減

出典：国土交通省資料による

騒音の緩和

静かな町、快適な暮らし

山中新田の集落では、通過交通や大型車による走行音が大きく、夜間においては環境基準を超過しています。

現道(国道1号)が
山中新田の集落を通過

至東京

山中新田集落

現道(国道1号)

至静岡

笹原山中バイパス

整備効果

通過交通や大型車がバイパスに転換し、騒音レベルが環境基準内に低減され、沿道環境が改善します。

山中新田集落付近の騒音

昼間

整備前73dB

整備後58dB

15dB減少

70dB(環境基準)

夜間

整備前74dB

整備後50dB

24dB減少

65dB(環境基準)

出典：国土交通省資料による

交通安全の確保

ゆとりある道、安心できる道

事業区間の現道(国道1号)では、歩道や路肩が極めて狭い上、大型車の通行が多いため、歩行者や自転車が危険にさらされています。

整備効果

大型車などの通過交通が
バイパスへ転換することで、
現道(国道1号)では歩行者や自転車の
安全性が向上します。

現況と整備効果
4つのポイント

通過交通が
バイパスへ転換!

登坂車線の設置
スムーズな走行、イライラ解消

整備効果

速度の遅い大型車との分離交通が生まれ、
快適で円滑な交通環境に変わります。

登坂車線なし

登坂車線あり

交通の流れが
スムーズに

沼津河川国道事務所の道路事業

静岡県東部・伊豆地域における社会資本の整備を担当しています。道路事業としては、伊豆縦貫自動車道、一般国道1号、138号及び246号の整備及び維持管理を担当しており、それらに関する調査も実施しています。

管内主要道路網図

調査中(予定路線)

調査中(基本計画区間)

事業中

一般国道(沼津河川国道事務所管理区間)

一般国道(沼津河川国道事務所管理区間外)

有料道路

有料道路(無料区間)

関連都市計画道路

※()のIC、JCT名は仮称

■沼津河川国道事務所 直轄管理延長表

路線名	管理区間	延長(km)	管内延長内訳	延長(km)	延長(km)
1号	静岡県 田方郡田原町 東本字平 139番地	34.0	田方郡 田原町 桑原から 富士市中里	34.0	—
1号	静岡県 田方郡田原町 東本字平 139番地	16.3	田方郡 田原町 桑原から 沼津市同宮	16.3	—
138号	静岡県 静岡市東区 山手 48番地	16.9	静岡県 静岡市東区 山手 48番地から 御殿場市 東山	16.9	—
246号	静岡県 沼津市大岡 下下地 274番地	35.7	静岡県 沼津市大岡 下下地から 沼津市同宮	35.7	—
414号	伊豆市 月ヶ瀬 80番地	5.5	伊豆市 月ヶ瀬から 伊豆市 大平	5.5	—
計		108.4		61.3	47.1

国土交通省 沼津河川国道事務所

〒410-8567 沼津市下香貫外原3244-2

[E-mail(代表)] cbr-numazu@mlit.go.jp

[ホームページ] <https://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>

沼津国道維持出張所

〒411-0943 駿東郡長泉町下土狩1027-1

☎(055)986-1122

御殿場国道維持出張所

〒412-0026 御殿場市東田中1845-1

☎(0550)82-2488

下田建設監督官詰所

〒415-0035 下田市東本郷1-6-13

☎(0558)38-0445

沼津河川国道事務所へは車で
JR「ぬまつ」駅から約10分、新幹線「みしま」駅から約20分、
東名「沼津IC」から約30分

この印刷物はソイインク(大豆油)および再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK

2020.2

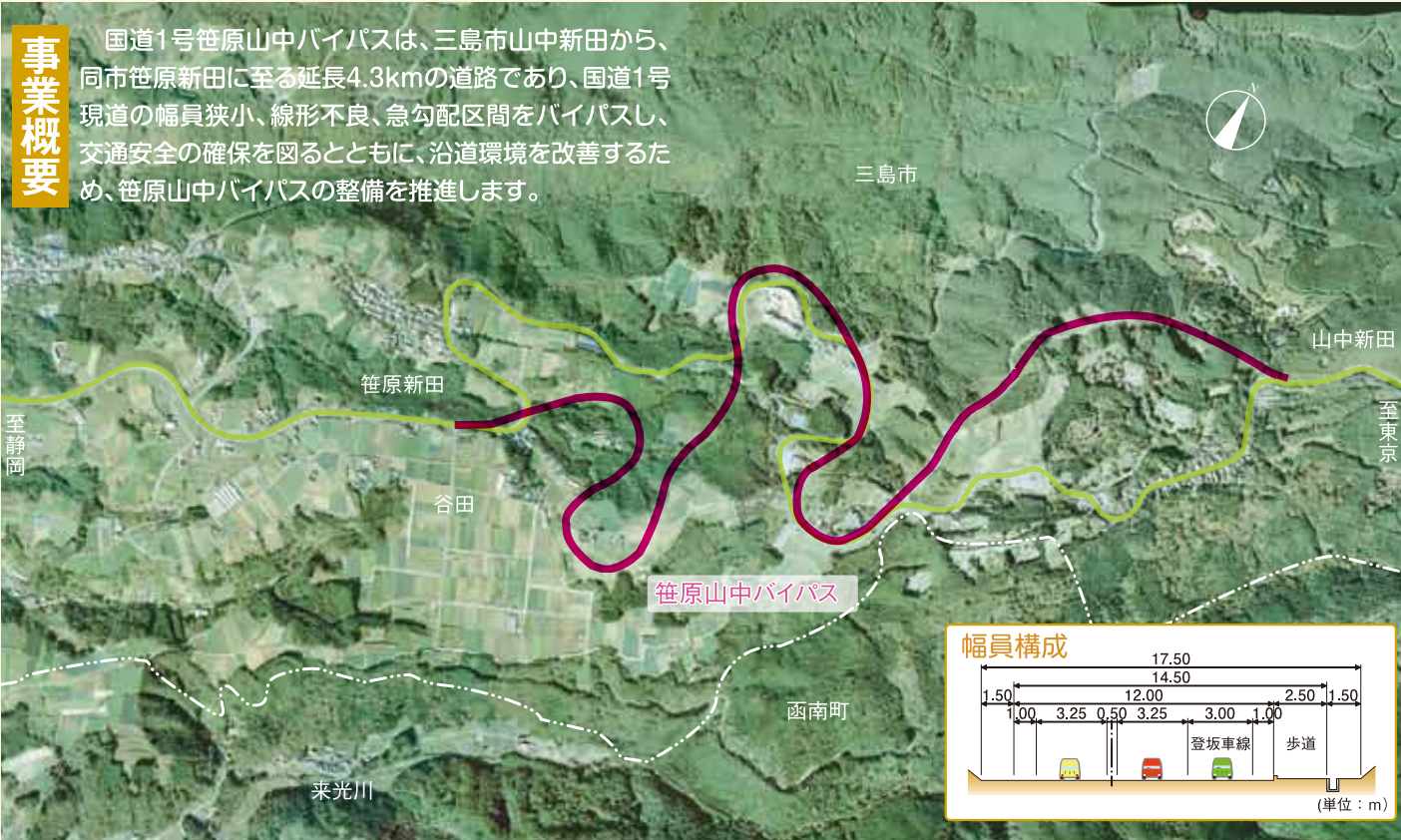
国道1号
笹原山中バイパス

SASAHARA-YAMANAKA BYPASS ROAD

NATIONAL HIGHWAY
SASAHARA-YAMANAKA BYPASS ROAD

国土交通省 沼津河川国道事務所

暮らしとの調和、 笹原山中バイパス



計画概要

区 間	三島市山中新田～三島市笹原新田
延 長	4.3km
道路規格	3種2級
設計速度	50km/h
車 線 数	2車線

事業経緯

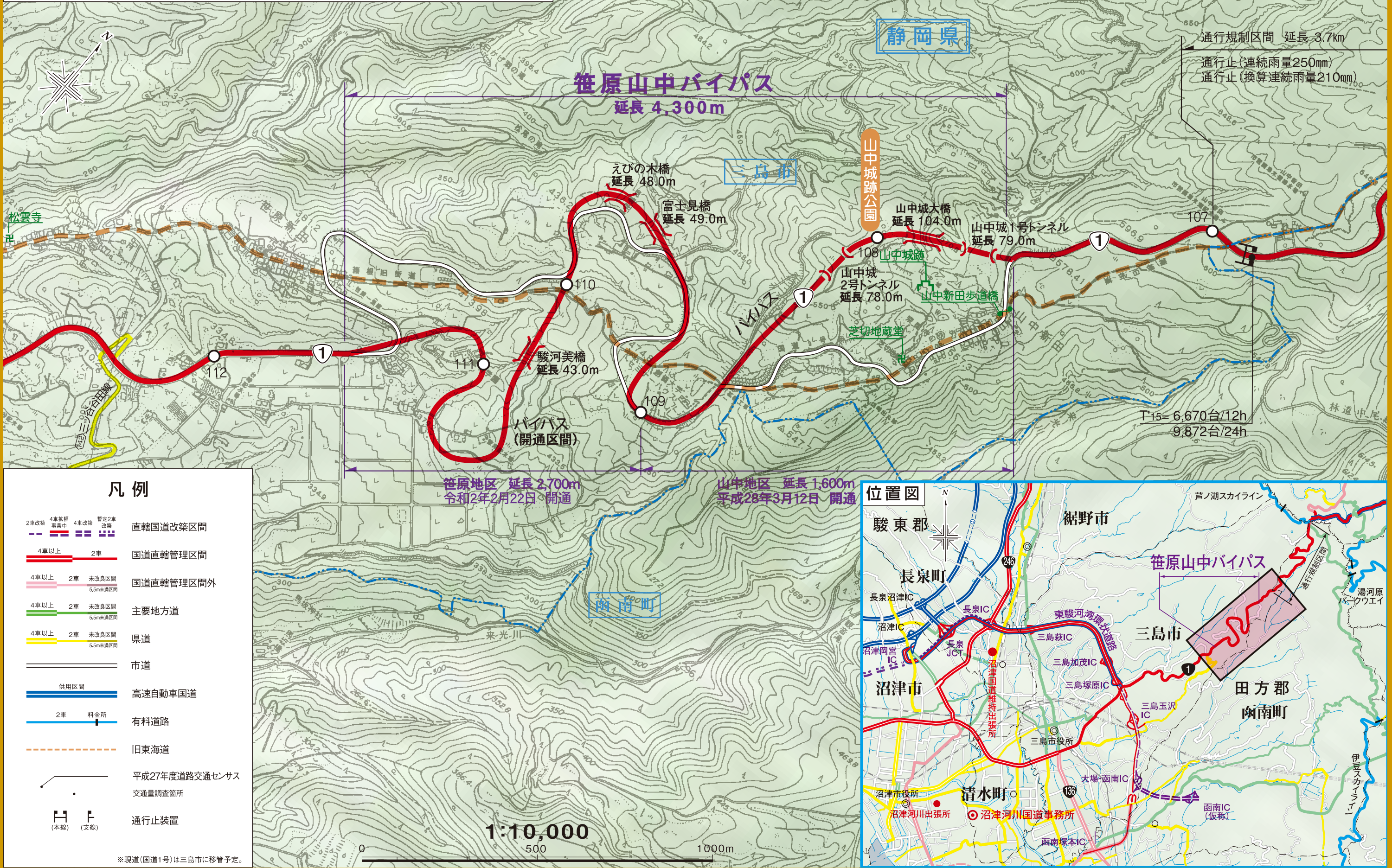
昭和63年度	事業化
平成3年度	用地着手
平成5年度	工事着手
平成28年3月12日	山中地区（1.6 km）開通
令和2年2月22日	笹原地区（2.7 km）開通

旧東海道散策マップ

東海道の宿駅伝馬制度が出来てから、約400年が過ぎました。時代は江戸、明治、大正、昭和、平成、そして令和へと移り変わり、社会経済の発展とともに、道もまた姿を変えてきました。住時の様子をそのままの姿で見ることが出来ませんが、脈々と連なる歴史や文化・伝統が息づく街を歩き、新しい発見と知る喜びが得られるかも知れません。



国道1号 笹原山中バイパス



この地図は、三島市長の承認を得て、同市の都市計画図を使用して作成したものです。